

様式第6号（会派用）

政務活動実施報告書

令和 4 年 11 月 28 日

村上市議会議長 様

会派名 新政村上

代表者氏名 長谷川 孝



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	経理責任者氏名	佐藤重陽
用 務 名	能代港洋上風力発電現地視察	
実 施 日 時	令和 4 年 11 月 16 日（水）午後 1 時 00 分 ～ 午後 3 時 30 分	
用 務 先	秋田県（秋田港、能代港）	
参 加 議 員 名	(新政村上) 長谷川孝 (鷺ヶ巣会) 大滝国吉、河村幸雄、菅井晋一 (清流会) 三田敏秋、鈴木好彦 (高志会) 尾形修平、鈴木一之、小杉武仁 (令和新風会) 川村敏晴、高田 晃 (無会派) 渡辺 昌、富樫雅男	
全体参加者数	13 名	
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別 紙	
備 考		



村上市及び胎内市沖洋上風力発電事業が、9月30日に国の促進区域に指定されたことから、12月を目途に事業者公募が開始されます。

約3,000億円以上の民間投資による一大事業であり、地域貢献や地域経済への振興が大いに期待されることから、どの事業者が選定されても本市の未来への発展につながるよう、先進地である能代市へ現地視察を行ったものです。

当日は、議員13名、環境課長・地域経済振興課長・企画戦略課企画政策室長の3名が参加いたしました。

能代市では、能代港を一望できるはまなす展望台にて、環境産業部 エネルギー産業政策課 浜野課長から「エネルギーのまち能代の取り組み」「秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖洋上風力発電事業 概要説明」資料をもとに説明をいただきました。

能代港湾内に完成した20基の風車（12月稼働予定）は、秋田港湾内の13基を含め秋田洋上風力発電株式会社を立ち上げ、秋田県内企業7社を含む13社で構成されています。

しかしながら、丸紅から代表取締役社長が就任していること、出資比率などが公表されていないなど不透明なところがあります。

私どもの会派で前回視察した秋田市のウェンティ・ジャパンのように地元企業が51パーセントの出資比率を維持して、地元企業の社長が地元振興を考えているのと少しばかり相違を感じました。

本市においては、共生しながら地域振興を優先的に取り組む方策をぜひ考えていきたいものです。

促進区域となった市町村が全国洋上風力発電市町村連絡協議会を7月28日に設立、能代市長が会長に就任いたしました。

本市も11日に入会手続きをおこなっています。

世界では20年以上前から導入が進められている洋上風力発電、国内での導入により、カーボンニュートラルが図られ、地域振興につながるよう真剣に取り組んでいきたいと思っております。